

1. 昭和57年度県発注設備工事 中間検査結果発表

県土木部検査課において、このほど本年度県発注設備工事の検査結果がまとまり発表されたので今後の工事施工に充分留意していただきたい。

昭和57年度設備工事中間検査の結果

- 1. 実施の期間 ----- 昭和57年10月～昭和58年1月
2. 検査対象工事 ----- 1件の工事請負額が概ね10,000千円以上の工事
3. 検査の目的 ----- 竣工検査を補完すべくに行う検査で特に設備工事の場合には竣工時に不可視部分が多いのでこれらの施工状況の検査、施工精度等を重点に検査を実施した。

4. 中間検査の重要事項

- 1) 一般的共通事項 (電気、機械)
① 契約関係書類の整備状況確認
② 施工図、承認図、承諾書類の確認
③ 工事経過写真の点検

2) 電気設備工事の検査重点項目

- ① 電線管の施工状況
② スイッチ、コンセントボックスの施工状況
③ 分岐電盤、アルボアスの施工
④ 接地工事の施工
⑤ 地中電線路の施工

5 検査実施件数 電気 204件 機械 244件 計 448件

6 検査結果

- ① 一般共通事項
① 契約関係書類の整備状況
② 下請関係
② 現場関係検査結果

4 「建築設備設計要領」による研修会

受講申込み締切り迫る。

財団法人管繕協会が主催で3月1日福島市県青少年会館において開催される標記研修会の受講申込みは2月10日締切りです。

5 昭和58年度会員研修旅行

4月12日より2泊3日に決まる

昭和58年度の研修旅行については総務委員会において検討を重ね北陸地方と決められたことであるが、(理事会了承)日程については、この程開かれた正副会長会議で4月12日～14日までの2泊3日で実施することになりました。

6. 電気組正副理事長会開催

県電気工事工業組合は1月25日飯坂町「葵館」において正副理事長(地区理事長)及び事務局長の合同会議を開催し当面する諸問題について協議した。

- 1. 退職共済年金制度について
2. 全日電工連政治連盟について
3. 引込線委託工事協約改訂について
4. 昭和58年度予算編成について

7 協会のうごき

Table with 2 columns: No. and Content. Lists various association activities and meetings.

トビ・ツ・フス

● 歴史に見る親方日の丸 戦前の軍人の給料袋の中身

遙々として進まない行軍・戦政再建に苦む一方で自衛力増強に力を入れている中曾根政権。大砲と戦術をどう両立させるかお手並見拝というところだ。

軍人は勿論「公務員」だから給料は法令で定められており、当時の一般レベルに比べて悪くない給料も貰っていたといえる。昭和初期、家族4人の平均的サラリーマンの月収は約92円(現在の物価に換算して約11万円)。

上の方を見ると大將は年俸6,600円と、なんと二等兵100人分の給料もとっていた。当時の諸外国と比較しても日本軍人のサラリーはよかつた。

佐官クラスを比べると米国の4分の1、ドイツの3割、イタリアよりもやや多いといった具合。当時の1人当り国民所得は米の6分の1、ドイツの3分の1、イタリアの8割しかなかったわけだから国民一般に対しては日本の方が恵まれていた。

時は流れ親方日の丸は衰えず、ということだ。

● うらやましい話

「今後は野球を通して人間性を養っていきなさい」ドラフト会議でヤクルトに1位で指名された、早稲の荒木大輔投手。いつかは大学進学を決心、ヤクルトの交渉を拒否していたが、12月16日、一転ヤクルト入りを決めた。

「もし史上初の4割を打つたら一億月もうら。こやうてホラも吹いて騒いでおれば、励みになる」こちらはバーリーフの57年の三冠王となった、ロフテの落合博満選手。契約更改で1,600万円から一挙に6,000万円(タイトル料600万円を含む)に年俸アップで鼻息も荒く、やはり、打つてなんぼの世界である。

ハットロールが実施された。

現場研修後再び組合に戻り技術検討会が行われたが参加者より熱心な質疑がかわされ、市役所担当官よりそれぞれ答弁が与えられるなど、夕刻まで真剣に検討が続けられた。

4. 先進施設の視察研修

本年度も3月に実施

近年における建築工事は公共工事もはじめ、大型化し設備も極めて近代化し施工も非常に複雑化しているため、これに対応するには常に技術水準の向上が要求されることから本協会は最優先事業として技術研修講習会を積極的に実施してきている。

又昨年度は技術研修の一環として県外の優れた公共建築物を視察研修し、今後の工事施工上極めて参考になり大きな成果を得たところである。

このため本年度も引き続き実施することとし、技術委員長を中心に検討した結果、各支部代表16名で3月8日より青森県立中央病院、神戸市立市民病院等の優れた建築物を視察研修することが決った。

5 「建築設備設計要領」研修会に150名の受講申込み

財団法人管繕協会が主催し、3月1日福島市の青少年会館において開催される研修会に150名の受講申し込みがあった。

厳しい経済環境の中、建設関係業界は極めて苦しい状況にもかかわらず多数の受講申し込みは、経営の合理化とともに技術水準の向上に力を注がれている会員企業の配慮に感謝申し上げるとともに受講者の今後の成果に期待するものである。

6 協会のうごき

2.2	技術研修会 本部技術委員・福島支部委員等 40名 電協会館 自治会館建設現場
	県測量設計協会第16回通節総会 会長 ホテル辰巳屋
12	県建築士会久和副会長 柳田吉則氏 会長 福島市平安殿
15	福島建設事務所 渡辺所長 柳田吉則氏 大槻副会長 福島市平安殿
18	先進施設視察研修打合せ 会長、大槻副会長 電協会館

・ 連絡 ・

「協会より」と保管しておくファイルもあらに作り、各支部長さんの会社に送っておりますので、機会を見ても受領して下さい。

現場における指導事項

- 接地極埋設標(12)に表示する記号について 接地工種が多し、建物であつて右記より記入するに依る。

接地極埋設標

第一種-E1	前方 尺 m
第二種-E2	深さ 尺 m
第三種-E3	埋込 子 目
第四種-E4	接地種号
第五種-E5	埋込種号
第六種-E6	埋込種号
第七種-E7	埋込種号

- 自家発電設備の試験について

次の場合竣工期負荷試験を省略することとした。

- i) 工場において現場代理人が技術者又は監督員が立会い検査を行つた場合---写真添付。
- ii) 立会いがなく現場に搬入した場合 100%負荷 3H 110% 30MIN(75-77の項)メーカーによる検査状況写真添付のこと。

2. 自治会館建設現場で学ぶ

本部技術委員・福島支部合同研修会

本協会は去る2月4日本部技術委員及び福島支部会員の合同技術研修会を現在建築中の県自治会館を対象にして開催された。

当日午前10時30分より電協会館会議室に坂本会長、大槻副会長、国津技術委員長をはじめ本部技術委員及び福島支部委員約40名のほか、県より橋本管繕課長、菊池課長補佐、菊池設備第1、熊田設備第2係長が出席され、坂本会長、橋本課長の挨拶のあと午前中菊池補佐、菊池係長及び工事施工者の東北電気工事(株)、吉田電工(株)の現場責任者より、建設工事の基本計画や工事の概要の説明を受け基本知識を得た。

昼食後工事現場に入り、適正な計画のもとに進められている同工事の主要な箇所を説明を受けながら入念に見て回り、今後の施工管理計画、品質管理、現場の安全衛生管理、書類、図面の管理などの参考にするべく熱心に視察研修を行つた。

現場研修後再び電協会館に戻り検討会が行われた。検討会では各受講者より活発な質疑が行われ、菊池補佐をはじめ両係長、施工業者より回答がなされるなどのほか、県発注工事の全般的な質問なども出て、より適切な説明や指導も得るなど夕刻まで盛会裡に続けられた。

当日午後からの技術検討会において受講者からの質疑に対しより回答のあった主要な事項について次により掲載した。なおこの回答は自治会館建設工事のみ適用される部分もあるためご了承願ひたい。

番号	質問事項	回答
1.	オイルタンク、キャホンプ回りの配管は防爆工事として統一しているか。	所轄消防署の指導で施工している。
2.	石綿材吹付個所の位置ボックスに継ぎも取付けは必要はないか。	スイッチ、コンセントの位置ボックスに取付ける。
3.	メタルラス張り電線管との取合い	絶縁材で離隔する。 共通仕様書 2.2.5による。
4.	仮設配線はパイプシャフトを配線してはどうか。	配線してもよい。
5.	機械室等配管の多いところの施工方法は。	管おとびアフトの数が多くなるので他工事業者と協議して施工すること。
6.	大きな部屋も後日、間仕切りをする場合は、柱には器具を取付けないようにしてはどうか。	設計の際に考慮しなければならぬ。
7.	防火区画されたEPS内部貫通部の処理はどのようにするのか。	標準図 P144による。
8.	地下室の換気はどのようにしているのか。	第一種機械換気
9.	地下室への大形機器の搬入路は。	設計の際に考慮しなければならぬ。
10.	地下室へ設置する配管盤類は四方と鉄板にしなくてもよいのではないか。	設置する場所に応じてきめて中きたい。

3 郡山支部技術研修会関く

郡山支部は1月26日郡山市発注の市立薫小学校建設現場で技術研修会を実施した。

当日10時30分より県南電気協同組合に会員企業から約40名が参加し、郡山市役所建築課 千葉、浜津監督員の出席を得て開会された。

国津支部長あいつつあつと両氏より市発注の工事に対する書類関係、施工技術、施工管理策について種々指導を受けた。

午後から現場に入り工事の工程進度を合せ、①仮設建物(整理、清掃、必要備品の整備保管状態)②書類関係(契約書類、設計図、施工図、承認図、写真、打合せ記録、諸官庁提出届書、申込書、試験成績書、検査記録簿書類の整備保管状況)③現場関係(作業員の服装、安全作業状況、盤関係、照明器具、弱電機器、配線器具等の取付状態、他工事との取合い、収り状況)と着眼点現場

3 5,000万円まで2%、越える額 1.7%
現場共益費改訂が決定調印さる

官公庁及び民間発注の建築工事が分離発注される場合、現場共通経費の金額を定め、主工事業者と設備工事業者が現場において相互信頼のもとに信義を守り、誠実にそれぞれの作業を履行し、工事も円滑に進めることを目的として、県建設業協会と本協会が共益費の協定を締結していることである。

現協定は昭和58年4月に締結されているが、現在まで7年を経過し、共益費率及び協定内容において現実に副かなる面もあるとの理由により、昨年9月建設業協会より協定書改訂の申入れがあった。

本協会はこの申入れを受けて総務委員会、正副会長支部長会議及び友好団体である県管工事協同組合連合会とも協議し、要望書も申し入れ、又昨年11月27日には建設業協会、本協会（大槻、国津副会長出席）及び管工事連合会の3団体代表が集まり、長時間にわたり、それぞれの立場で協議したところである。しかし設備団体にとっては現協定より厳しい内容の改訂に落ちついていたところである。

この調印式が3月14日建設センターにおいて3団体の会長が出席し行われた。

主要な改訂の内容

1. 改訂共益費協定は昭和58年4月1日以降において契約された工事から適用する。

2. 共益費率

設備工事請負額が (1) 5,000万円までは2%とする。
(2) 5,000万円を越える部分については1.7%とし、(1)に加算する。
(従来の但し書は削除する)

3. 紛争調停委員会の設置

※ 協定書は目下印刷中であり、出来次第、通知いたします。

4 設備設計要領研修会 盛会に開かれる

建設大臣官房官繕部監修による「建築設備工事設計要領」57年版が改訂されたのを機に、建築設備の基本理念を理解し、基礎知識及び設計体系を身につけてもらうことを目的として、技術研修会が社団法人管総協会主催、福島県土木部後援により、3月1日・2日の両日、福島市の県青少年会館において開催された。

第1日は電気設備コースの研修が行われ、県市をはじめ設計業界、電気設備工事業者より約200名（工事業者約160名）が受講した。

橋本県管繕課長があいさつの後、東北地方建設局花房実設備課長、同じく設備課官繕設計官大沼正幸氏の両講師が午前9時30分より午後4時30分まで講義がつけられた。

会場はあふれるほどの盛況で、最後まで席を立つものも少なく、熱心にメモを

とっていた。

いわき支部などは貸切りバスで会場に乗り込むなど、主催者の話しによれば、東北二県で開催された研修会では、一番盛況であったと賞讃しておいた。

5 第2回先進施設の視察研修実施

昭和57年度の本協会専攻事業として、会員企業の技術水準向上を図るため、各種研修、講習会を積極的に実施して来たところであるが、昨年度より技術研修の一環として、県外の優れた公共施設を視察研修し、今後の工事施工に極めて参考になり、大きな成果を得るところから、これら研修を本年度も引き続き実施することとし、去る3月8日より10日まで2班編成により各支部代表16名をもって次の施設を詳細に視察調査し、大きな成果を得た。

第1班 青森県立中央病院 国津技術委員長ほか7名

第2班 神戸市市民病院、ポトピアホテル、松崎技術副委員長ほか7名

6 昭和58年度研修旅行に57名参加

4月12日～14日の3泊3日で実施された北陸地方研修旅行に、会員各位に参加の呼びかけをいいたところから、57名と多数の方の参加を得た。

却合で参加出来なかった会員の方は次の機会に期待します。

集合は4月12日午後2時 羽田空港出発ロビー 全日空（1松行）カウンター前

集合時間に遅れないようお願いします。

7 協会のうごき

3. 1	「建築設備工事設計要領」研修会	160名受講	県青少年会館
2. 10	先進施設視察研修 第1班	国津技術委員長ほか7名	青森市
-	第2班	松崎技術副委員長ほか7名	神戸市
12	県建築設計監理協会第28回通常総会	会長	福島市民会館
14	共益費協定調印式	会長、専務理事	建設センター
17	協会第5回理事会	理事20名出席	いわき市警署ニオホテル高層
22	建設業経営合理化講演会	20名受講	建設センター
24	商議代表士永年在職祝賀会	会長	東京都新高輪アリスホテル

— 会員消息 —

{住所変更}

○ いわき支部 奥羽電機工事株式会社（新）いわき市錦町糠塚46
(旧) いわき市錦町落合16

協会だより

第47号
昭和58年4月1日
福島県建設業協会

1. 昭和58年度福島県管繕工事の概要について

県土木部は2月定例県議会が開会された3月11日記者会見と行った。橋本官繕課長より昭和58年度県管繕工事の概要が発表された。これによる工事費総額は157億円、件数にして270件が計上されているが、内外の経済情勢が一様と厳しさを増している今日、事業量、件数ともに昨年度より減少しており、建設業界にとって凶凶工事についてはまさに厳しい年と云えよう。

内訳は

知事部局 130件 4070百万円
教育庁 132件 10824
警察本部 27件 806

となっており、本年度も昨年度に引き続き、(1)施設に文化性をもたせ、(2)省資源を考慮し、(3)身体者対策、(4)建物の保全対策も推進する。この四つの事項を基本目標として、一層充実した事業を実施する。又本年度は特に、(1)つ追財政の拵から目標の達成にあつては創意工夫を旨とし、効果的な予算の執行に努める。

本年は県民のニーズに対応して行政を展開する場として、また、地域における根幹的な施設となる公共建築物の創出を図るため、地域性文化性等も十分に考慮し、県民すべてが安心して利用できる施設の建設に取り組む考えである。

次に本年度の「文化のためのパーセントシステム」適用対象施設は、いわき警察署庁舎で周辺環境と調和した施設をつくるよう努力したい。

また、世界的な要請である省資源については、引き続き建築分野における研究を推進し、技術水準の向上に努めることも、安全管理についても増大する公共建築物がいつまでも安全性と快適さを保ち、円滑に県民サービスが与えられるよう、その方策の確立に努力する。

主要工事一覧表

工 事 名	工事場所	構造	階数	延面積(m ²)	備考
県立美術館建築工事	福島市	R.C.	2	2,200	継続
県立図書館建築工事	〃	R.C.	4/1	2,000	〃
自治会館建築工事	〃	S.R.C.	2/2	12,224	〃
県立矢吹病院改築工事	矢吹町	R.C.	2	2,426	〃
県立白河体育館建築工事	白河市	R.C.	2	6,247	〃
いわき総合運動公園公営野球場建築工事	福島市	R.C.	3	2,825	〃
いわき東警察庁舎新築工事	いわき市	R.C.	3	2,104	〃
本宮高校校舎改築第3期工事	本宮町	R.C.	4	1,484	〃
福島工業高校校舎改築工事	福島市	R.C.	2	1,240	〃
保泉高校校舎改築工事	保泉町	S.R.C.	1	1,420	〃
福島高校校舎改築工事	福島市	S.R.C.	1	892	〃
船引高校校舎改築第2期工事	船引町	R.C.	4	1,253	〃
船引高校校舎改築第3期工事	〃	S.R.C.	1	1,420	〃

工 事 名	工事場所	構造	階数	延面積(m ²)	備考
白河女子高校校舎増築工事	白河市	R.C.	3	269	〃
東白川農高校舎改築工事	鮎川村	S.R.C.	1	213	〃
喜多方高校校舎改築工事	喜多方市	S.R.C.	1	280	〃
会津高校校舎増築工事	会津若松市	R.C.	2	440	〃
大沼高校校舎改築工事	会津高田町	S.R.C.	1	280	〃
会津慶林高校校舎改築工事	会津坂下町	R.C.	3	295	〃
南会津高校校舎改築工事	南郷村	R.C.	2	205	〃
遠野高校校舎改築第2期工事	いわき市	R.C.	3	245	〃
湯本高校校舎増築工事	〃	R.C.	4	1,440	〃
平島高校校舎改築工事	〃	R.C.	2	846	〃
いわき養護学校校舎改築第2期工事	〃	R.C.	1	1,424	後継
会津警察技術専門校校舎改築工事	塩川町	S.R.C.	1	270	〃
警備員宿舎改築工事	西郷村	R.C.	1	2,248	継続
福島学園聖舎整備工事	須賀川市	R.C.	1	1,280	〃
地方職員共済組合職団住宅新築工事	福島市	R.C.	3	1,288	〃
〃	喜多方市	R.C.	4	1,027	〃
福島県教職員住宅新築工事	福島市	R.C.	4	1,083	〃
警察職員宿舎新築工事	〃	R.C.	4	1,618	〃
〃	〃	R.C.	4	1,027	〃

2 第5回理事会開催

本協会本年度第5回理事会が去る3月17日、いわき市において理事20名が出席し、昭和58年度予算編成をはじめ当面する諸問題について審議された。

(1) 昭和58年度予算編成について

昭和58年度は県工事をはじめ市町村公共工事の建設が、昭和57年度に比し大中に減少となり、又民間工事も極めて厳しい状況の見通しで、協会運営にも大きく支障を来すことから、明年度の予算編成にあたり、会費の見直し等について種々審議されたが、普通会費の値上げについては厳し、受注状況もふまえて今後検討することとし、支出も大に削減し、明年度に対応することとなった。又特別会費の上限についても審議された。

(2) 理事会、通常総会の日程について

一応次の日程を予定した。

第1回理事会 4月26日(火)、第2回通常総会 5月19日(木)

(3) 報告事項

(1) 昭和58年度県管繕工事の概要について 別場のとおり

(2) 共益費協定改訂について 別場のとおり

1. 昭和58年度電気工事士試験について

福島県における昭和58年度電気工事士試験が次により実施されることとなっておりますのでお知らせします。

- 試験の日時及び場所
 - 筆記試験

日時 昭和58年6月19日(日) 午前10時より12時まで
場所 学校法人電気学園福島高校、県立郡山北工業高校、県立平工業高校、県立会津工業高校。
 - 技能試験

期日 昭和58年7月24日(日)
時間場所 筆記試験合格者及び筆記試験免除者に追って通知。
- 試験科目
 - 筆記試験

①電気に関する基礎理論 ②配電理論及び配線設計 ③電気機器配線器具並びに電気工事用材料及び工具 ④電気工事の施工方法 ⑤一般電気工作物の検査方法 ⑥配線図 ⑦一般用電気工作物の保安に関する法令
 - 技能試験 次に掲げる事項の全部又は一部について行う。

①電線の接続 ②配線工事 ③電気機器及び配線器具並びに電気工事用の材料及び工具の使用法 ④電気機器及び配線器具の設置 ⑤コネクタ及びケーブルの取付け ⑥接地工事 ⑦電流・電圧・電力及び電気抵抗の測定 ⑧一般用電気工作物の検査 ⑨一般用電気工作物の故障箇所の修理
- 受験申込の手続
 - 受験願書受付期間

昭和58年5月2日から5月16日まで(郵送の場合5月16日消印のあるものは受付可)
 - 受験申込の方法

ア 受験願書用紙の交付と受けとめるものは、もよりの県商工務政事務所又は、南会津行政事務所及び請求されること。
イ 受験願書には、4,900円に相当する金額の「福島県収入証紙」を貼付すること。(消印はしないこと。)
ウ 受験願書を提出する場合には、受験票その他の通知書等用紙の住所氏名欄にそれぞれ住所(下宿等の場合は何れの方まで記入のこと)、氏名を記入して受験願書と一緒に提出すること。(提出先は受験者の住所所在地と管轄する県商工務政事務所、又は南会津行政事務所)
エ 受験願書と受理しに必要は受験番号及び受験者心得を記載した受験票を交付する。
- 筆記試験結果の通知及び発表

筆記試験の結果については合格者に通知する。(発表の期日は7月上旬の予定)
- 筆記試験免除の場合でも願書は上記受付期間中に提出のこと。
- その他詳細については商工務政事務所、県工業開発課に問い合わせのこと。

「あなたに住む日本もいつかどうなるか」と問われれば「どうなるか」といふ。富士山、カメラ、働き蜂……外国人の答ふのよう、はた然りとイメージしが出ないもの。もちろん日本のすべてを言ふ表わすのは不可能だ。しかしいくつかのテーマを眺めて思ふに日本像、日本観が見えてくる。この特集はテーマ、統計から選んだ日本の骨格である。題して「日本列島雑学事典」ある情報誌より

- 国土・人口
- 日本の人口は?

20才常識では日本人の人口は1億1706万人。うち女性50.8%、188万人が男性が多い。世界人口比では3.1%と第7位。
世界では①中国—10億800万人②インド—6億8400万人③ソ連—2億6500万人④米国—2億3000万人(日本の2倍)⑤イタリヤ—1億4100万人 アジアでは中国が最も多い。日本人の平均寿命 男性73.8歳女性79.1歳 北欧並みの長寿国。
 - 国土の広さ、島の数は?

総面積37万7727.77平方キロメートル。英国、フランスと同じくらい。島の数3922島。大きい島のベスト5は、①北海道②四国③佐渡島④奄美大島⑤対馬。内閣統計局の資料なので北方領土がしつかり教えられていない。米国発行の地図では2島はソ連領に
 - 国民総生産(GNP)は?

56年度のGNPは251兆5363億円。自由国世界ランキングでは①米国—203億ドル、②日本—104億ドル③西独—82億ドル④仏—58億ドル⑤英国52億ドル。おと民間サラリーマン(平均35才)の平均年収は340万円、製造業の国際比率では①米国②日本③西独④英国⑤仏
 - 日本人の性で多いものは?

全国的に多いのは①鈴木②佐藤③田中④山本⑤渡辺。名前で清に和子、世界で最も多い姓は中国人の張。英語圏ではスミス。
- 政治・経済
- 有収者は男性女性のどちらが多いか?

前回の66衆院選では男性3917万人(48.4%)女性4175万人(51.6%)と女性が多い。投票率でも女性票が多くなる。男性72.7%女性75.6%。女性にアピールする候補者は有利といわれる。
 - 政党のうちで高収入の順位は?

①日本共産党195億②自由民主党186億③公明党83億④日本社会党51億⑤民社党24億。共産党の7割は機関紙「赤旗」の起。自民党は企業への利益減に伴う政治献金の減少による。
 - 政治献金の多い企業ベスト5は?

①新日本製鉄8600万円②富士銀行8304万円③住友銀行8249万円④三菱重工業8222万円⑤三菱銀行8184万円
 - 国家公務員はどの省が多いか?

総数50万6506人(昭和55年度)①文部省(12万5726人)②厚生省③農林水産省④法務省。通産、外務官は数少ない。
一方、地方公務員は総数316万7744人(55年度)雇用者3772万人の3.1%にもなる。勤め人10人に1人は公僕。行草が苦勞するものわかる。
 - 日本はどの国から多額に輸入しているか?

①米国—5兆5522億円②サウジアラビア—4兆2042億円③イタリヤ—2兆9160億円④アラブ首長国連邦—1兆2345億円⑤オーストラリア—1兆6320億円
 - 日本はどの国へ多額に輸出しているか?

①米国—8兆5787億円②西ドイツ—1兆3089億円③サウジアラビア—1兆2763億円④韓国—1兆2463億円⑤台湾—1兆1883億円
 - 日本の輸出入品目ベスト5は?

輸入—①原油—527億4290万ドル②木材—67億890万ドル③石油製品—50億8000万ドル④液化天然ガス—44億5830万ドル⑤石油—44億5830万ドル
輸出—①鉄鋼(38%鋼材)—1545億420万ドル②精密機械—625億980万ドル③船舶—468億190万ドル④金属製品—394億700万ドル⑤自動車—233億7340万ドル
- 軍備・防衛
- 日本の兵力はどのくらい?

総兵力24万5000人(陸上15万5000人 海上4万5000人 航空4万5000人)
 - 日本の兵力は世界で何位?

陸上兵力は兵人数比較で27位。世界では①中国(390万人)②ソビエト③ベトナム④インド⑤米国 日本はアジアでは11位
海上兵力は保有艦艇総トン数で比較すると20.6トン(160隻)で第8位、ソ連(約651.8トン)②米国(571.7トン) 日本はアジアで中国に次いで2位
航空兵力は作戦機数で比較すると380機で18位、1位ソ連(9160機)②中国③米国、日本はアジアで7位
 - 防衛費の額では世界何位か?

①ソ連—額は不明②米国③中国④英国⑤サウジアラビア⑥フランス⑦西ドイツ⑧日本
 - 防衛費のうち、武器、装備購入に割り当てられるのは何%くらいか?

22.4%と少ない(57年)ノボ多の人は人件費糧食費46.6%。その他は基地対策費ほか。
- 社会・民力
- バティック店が多い県

①東京909軒②大阪643軒③愛知619軒④北海道⑤福岡
 - ホテルが多い県

①東京209軒②北海道139軒③沖縄131軒④長野⑤静岡
 - パチンコ屋が多い県

①東京4795軒②北海道2573軒③沖縄④愛知⑤神奈川
 - 結婚の多い県

①東京(857922件)②大阪③神奈川④愛知⑤北海道
 - 離婚の多い県

①東京(1万5969件)②大阪③北海道④神奈川⑤福岡
 - 家本人の多い県

①北海道②大阪③香川④福岡⑤沖縄
 - 自殺者の多い県

①鳥取②岩手③秋田④山形⑤高知 東京は少ない
 - 持5家比率の高い県

①富山②山形③秋田④福井⑤長野

2. 第32回通常総会 5月19日開催

第1回理事会開く

協会本年度第1回理事会が4月26日午後2時より電協会館において開催され、総会に提案する議案を中心に審議された。審議内容は概ね次のとおりである。

- 昭和57年度事業報告並びに同決算報告承認について 略
- 昭和58年度事業計画並びに同予算案について

昭和58年度も経済環境は依然として低迷状態が続くものと見られ、因に於ける公共事業予算も財政再建のため、4年連続延率ゼロに抑制された。又県をはじめ地方自治体における公共工事も昨年度に比し相当量、減少が見られ、さらに民間投資、住宅建設についても低迷状態が続くものと予想され、従って業界における本年度の受注面での見通しは極めて厳しく、企業経営にも大きく影響されるものと見られる。
このよび現状から県外業者の進出も一層激しくなり、県内業者との競争も一段と熾烈化されたものと考えられる。
本協会も業界の共存共栄を図るため一層團結と協調を図り、引続き工事の分離発注、県内業者への優先活用と啓蒙活動、技術水準の向上等に組織活動も強力に推進してゆくことが重要な課題であり、昨年度に比し約500万円減額が25,000千円でこれらも重負として編成し、これを説明、審議の結果、総会に提案する議案が決定した。
- 役員改選について

本年6月22日をもって現理事、監事全員が任期満了になりため改選となる。役員の出は従来通り指名推せんの方法で行うこととした。
- 新規会員の入会について

会津支部より推せんのある新規入会希望の下記2社について審議の結果、入会も承認された。

会社名	代表者名	住所
有限会社 目黒工業商会	目黒 勝	会津若松市南石町1の54
有限会社 萩生田電設	萩生田 健二	・ 神指町柳原377

- 総会開催日程について

第32回通常総会(5月19日(木)午後1時より電協会館において開催すること)決定した。
- その他
 - 第14回協会主催ゴルフ大会の開催

6月、郡山支部内のゴルフクラブにおいて開催を決定した。
日時、場所等は郡山支部と協議の上、後日会員に通知する。
- 総会時の服装

洋服とし、パフチは必ず付ける。
パフチの紛失、又は所定の会員は支部を通じ本会に申し込むこと。(1万円)

- 16 バティック店が多い県

①東京909軒②大阪643軒③愛知619軒④北海道⑤福岡
- 17 ホテルが多い県

①東京209軒②北海道139軒③沖縄131軒④長野⑤静岡
- 18 パチンコ屋が多い県

①東京4795軒②北海道2573軒③沖縄④愛知⑤神奈川
- 19 結婚の多い県

①東京(857922件)②大阪③神奈川④愛知⑤北海道
- 20 離婚の多い県

①東京(1万5969件)②大阪③北海道④神奈川⑤福岡
- 21 家本人の多い県

①北海道②大阪③香川④福岡⑤沖縄
- 22 自殺者の多い県

①鳥取②岩手③秋田④山形⑤高知 東京は少ない
- 23 持5家比率の高い県

①富山②山形③秋田④福井⑤長野

6. 電気工事工業組合正副理事長会議開催

県電気工事工業組合正副理事長会議が4月20日午後1時30分より電協会館において開かれ、次期理事会に提呈する昭和57年度事業報告、同決算並びに昭和58年度事業計画、同予算案について審議した。又、第1回理事会を5月6日午後2時から電協会館において開催することを決めた。

次に第三者災害賠償保険については6月の更新期を機会に二層加入の促進を図り、全日電工連政治連盟の加入についても60%以上の加入促進に力を入れたこととした。

7. 中建審の建議骨子について

一昨春秋以来建設業界の談合問題報道に関連し、建設工事の入札制度の合理化対策について去る3月16日、中建審(中央建設業審議会)が建設大臣に建議を行った。建設業界はこの建議かどのような内容になるのか非常に注目しておつたところであつたが、今回発表された内容は一応評価されるものであつた。建設工事に関する入札制度の合理化対策についての建議の骨子は、次のとおりである。

1. 指名競争契約の堅持

一般競争入札も一般的に採用することは困難であり、指名競争契約も公共工事に関する契約方式の運用上の基本とすべきである。

2. 指名業者数の増大の見直し

指名業者数の増大に伴って発生している諸問題を解消するため、適切な数となるよう指名業者数の見直しを図られるべきである。

3. その他の主要改善案

イ 隨意契約の適用範囲に関する具体的なガイドラインの設定とその公表。

ロ 予定価格の的確な設定といわゆる歩切りの厳禁。

ハ 積算の基本的な考え方や標準歩掛り等の積算資料の公表。

ニ 合理的な指名基準の整備とその公表、合議制の機関による指名審査の拡充。

ホ 指名停止基準等の合理化とそれに基づく適切な運用の確保。

4. 今後の検討事項

一般競争契約の採用については、この方式が持つ諸問題の解消のため、今後、幅広い検討を行う必要がある。

建設業における市場競争の在り方と独禁法との関わり合いについての立法政策を含めた幅広い検討が、極めて重要である。この課題に関しては、十分に検討を行う場を設ける等積極的な取組みが必要である。

8. 協会のうごき

4. 14	会員研修旅行	北陸地方	52名参加
22	建築文化賞表彰式	会長出席	知事公館
26	第1回理事会	理事22名出席	電協会館
27	昭和58年度監事会		電協会館

3. 第1回県建築文化賞表彰

第1回福島県建築文化賞の表彰式が4月22日午前11時より知事公館で行われ、正副準賞各1件、奨励賞3件、特別賞2件の7件が表彰された。

県は57年度に県内において地域の周辺環境に調和し、かつ景観上優れている建築物を表彰し、文化の香り高い魅力あるまちづくりに対する意識の高揚を図るため、県、福島民報社、県建設業協会、県建築士会が主催し、本協会など10団体から後援し、「福島県建築文化賞」と制定し、本年1月4日から31日まで募集を行った。その結果店舗、役場、病院、ホテル、銀行、体育館など74件の応募があつた。審査には川上秀光東大工学部教授を委員長とする10人の審査員があつた。書類審査、現地調査等慎重な審査が行われ、次の建物が晴れの入賞に輝き、松平知事より建築主、設計者、施工者に賞状と楯が贈られた。

(建築文化賞)

● 鈴善煉瓦蔵・繁の辻、大津加本店による街並 …… 会津若松市中央通り

鈴善煉瓦蔵・繁の辻

(建築主) 鈴善工業(株) (設計者) 株式会社山崎設計事務所 (施工者) 会津土木(株)

大津加本店

(建築主) 南大東製菓 (設計者) 大日本印刷(株) (施工者) 武木建設(株)

(建築文化賞準賞)

● 大宮市立少年自然の家 …… 南会津郡館岩村

(建築主) 大宮市 (設計者) 株式会社松田平田坂本設計事務所 (施工者) 株式会社竹中工務店東北店

(奨励賞)

● 郡山市立図書館・視聴覚センター …… 郡山市麓山

(建築主) 郡山市 (設計者) 岡田新一設計事務所 (施工者) 廣島建設(株) 仙台支店

● 磐梯町役場庁舎 …… 耶麻郡磐梯町

(建築主) 磐梯町 (設計者) 株式会社清水公夫研究所 (施工者) 入谷建設工業(株)

● いわき市立総合体育館 …… いわき市平

(建築主) いわき市 (設計者) 株式会社北部カー設計仙台支社 (施工者) 株式会社間組加地和組 建築部

(特別賞)

● 大熊町役場庁舎(建物・庭園の調和) …… 双葉郡大熊町

(建築主) 大熊町 (設計者) 株式会社建築モード研究所 (施工者) 廣島建設(株) 仙台支店

● ニュー福島ビル(都市再開発事業への貢献) …… 福島市栄町

(建築主) 栄町地区市街地再開発組合 (設計者) 株式会社山下設計仙台店 (施工者) 株式会社竹中工務店東北店

4. 吉田惣七氏電設功労者として県知事表彰さる。

本協会常任相談役吉田惣七氏(吉田電工株式会社社長)には永年にわたる電気工事業界に尽された功績が認められ、5月3日の憲法記念日にあたり、松平県知事の電設功労者として表彰されることになり、このほど本会に連絡がありました。

電設業界の社会的地位が認められたもので、受賞はまことに喜ばしいことです。

表彰式は5月9日午前11時より県庁正庁において行われます。

5. 会員研修旅行楽しく盛会裡に終了

—— 北陸路レポート ——

協会主催の研修旅行が2年ぶりに去る4月12日より2泊3日の行程で行われた。本年は石川、福井県にまたがる「北陸路を訪ねて」とし、会員各位に参加と呼びかけられたところ、福島支部の23名をはじめ各支部より52名の参加協力が得られたことである。

当日午後2時、羽田空港に集合、ジャンボジェット機でわずか1時間、小松空港に着陸。迎えるバスで山代温泉に直行。北陸温泉随一の格式と誇るホテル百万石に着く。60,000坪の敷地に氷と緑の大庭園に囲まれ、700名を収容できる大ホテル。室に入るや女中さんの心からのもてなしに会員諸氏気分はよきよきこのホテルに好感をもつ。懇親会も和やかに芸妓の踊りや、支部代表のノド自漫大会などで遅くまで宴会が続く。

2日目、午前8時30分ホテル出発。東尋坊へ向う。日本海にのびる安山岩の岩柱が壮大な柱状とみせて天然記念物に指定されており、越前加賀海岸の名勝地。遊覧船で奇岩を見学したのち永平寺に向う。

道元禅師開山の曹洞宗大本山、禅宗式建築の伽藍が完備した大修業道場として又佛法のメッカとして全国的に多く信者と有している名刹である。

昼食に精進料理をとり、午後は九谷焼窯元へ廻る。五彩と呼ばれる色絵の美しさ、三百年以上の伝統の上につけ加賀代表的特産品の製作工程を見て廻る。

夕刻金沢市内に入りホテル「ホリデイ・イン金沢」に到着。夕食は各自自由のため、支部毎や親しい仲間がそれぞれ自由行動をとり、加賀郷土料理に舌つみとうち、ネオン街にくり込む組や、今も盛りの兼六園の夜桜を見学するなど遅くまで古都金沢の夜を楽しんだ。

川柳2題(某料亭にて)

● 格式も七代目となり色気出し。

● 金沢に遊び千代女の文を知り。

良一

3日目、午前9時ホテル出発。日蓮宗名刹妙立寺に寄る。加賀百万石の祈願所として靈験顯著にして、又建築が複雑な階段交錯する迷路状の廊下、逃げ穴、隠し部屋が巧みに配置され、更に四方を一望に眺められる望楼も設備されてある塔形式の東築で外敵をいち早く知るこができ、今では忍辱寺として有名になっている。

次いで藩主前田家の庭園で日本三名園の一つ兼六園を見学する。

満開の桜の中に霞が池、微粉灯籠、曲水、翠滝、瓢池、夕顔亭など、さうに見事な多くの松の美しさはさすが日本一の名園。金沢市民は幸せものよ。

昼食後、加賀友禅館に寄る。風土と歴史にはぐくまれ、脈々と伝えられた伝統工芸「加賀友禅」をんじ、藍紫を主体とした色調、模様を外から内にホカホカ技法美しい風物詩でもある友禅流しの製作工程にうっとり、しかし値段を開いてビックリ……

館内には加賀百万石おまつり広場が常設されており勇壮豪快な加賀藩の様子や、獅子舞などを見学。2時前、小松空港につく。

所定の手続きをすませ、2時30分発のジャンボ機で、金沢の別れを惜しみながら羽田に向う。3時40分羽田着。

旅行期間 晴天に恵まれ、全員つながりよく3日間の楽しい旅行を終えて、もちきれないおみやげを背に羽田空港で解散。それぞれ帰路についた。

参加の皆さんおつかれさまでした。又次の機会を楽しみに。

4 昭和57年度設備工事の検査結果について 福島県土木部

県土木部土木検査課において、このほど昭和57年度設備工事の検査結果がまとまり、本協会に通知があったのでその集録も掲載したから、内容を充分理解され、今後の工事施工の参考にしていられたい。

検査実施件数は昭和56年度に比し、件数は減少しているが工事の大型化により検査金額は大型工事も500万以上と氏にもかわらず減少率は小さかった。また、施工に関しては、昭和49年度から実施してきた自主管理施工が浸透し、誠意努力の成果もみられ年々進歩向上し、全般的に良くなってきている。

しかし、一部地域では施工業者の格差があり、施工精度および出来栄にばらつきが目立つものがあった。このため技術研修会、中間検査等の機会を通じて複雑大型化する最近の設備工事に対応して行くよう施工業者の指導を行って行く方針であるが、現場の管理においても設計図書の内容把握と仕様書の周知徹底を図り、より適正な工事の完成を望む。

以下一般共通事項並びに各工種毎に今後留意すべき事項を記述したので参考にしていられたい。

— 改善を要する事項 —

〔一般的共通事項〕

- 各種試験、検査未済があった。(水質試験、社内竣工検査)
- 写真色あいの違い、不鮮明なものがあった(竣工カラー写真、水圧測定用圧力計……建物竣工色と設備で撮影した色あいが相異しする。)
- 竣工検査時に清掃跡、跡付けの不十分な箇所があった。(天井裏、パイプシャフト内、受水槽及び高置水槽部内……特にユニットバス、天井内及び廊下天井内のモルタル(すき、木杓、電線くす、保温材等が多かった。……建築、電気、機械の3社協議の上清掃すべきであろう。)
- 中間、既済及び竣工検査時において契約関係書類を備えていないものがあった。(変更契約書も忘れていた場合が多い。)
- 使用資材の変更理由に理由も付かず提出しているものがあった。(取引先の変更などで利害関係が生ずる場合が多く誤解を招くので変更理由は明確にすること。)
- 工事現場事務所内に常備すべき書類の不備があった。
福島県建築工事施工監理必携(改訂版設備編昭57.7.参照)
- 福島県、元請、下請関係適正化指導要綱(57.3.31制定)関係
 - 下請通知書のなかで工事の内容(下請範囲)、契約金額も記入していないものがあった。
 - 設備工事に含まれる土木工事関係の下請承認願が殆んど提出されていないかつた。(主として舗装関連)
- 設計図に添付される特記仕様書、を十分理解しているかつたために手直し事項として指示されたものがあった。
例。接地極埋設指示板(黄銅板90×140×1.0mm以上)

○衛生器具注意板(大便器及び小便器に取り付ける陶器製注意板)

○樹、ハットポールに取り付けのくさりの施工忘れ

特記仕様書は施工条件の第一義的なものであり十分注意願いたい。

- 社内検査(主として竣工検査)が形式的になりがちである。通常「社内竣工検査」を経て「建設事務所竣工予備検査」を実施している場合、検査員による指示事項は殆んど無い訳であるが指示、指導事項が未だ残存している。これは「出来栄」、施工精度、等々実質として社内検査にあるべき考えられるので、今後は「施工の状況」、「機械類の性能」等も加味して内容のある「社内竣工検査」の実施をお願いしたい。
- 過去に出された改善すべき事項のうち良くなった項目は次の通りである。
 - 火災保険の契約について
時期、期間共適正になり改善されたと理解している。
 - 施工計画書の作成状況について
業界内の指導が良くなり検査対象全件教員良好であった。
 - 発生枝の処理状況
契約業者等と文書で交換するのと処理状況良好であった。

— 今後留意すべき事項 —

〔電気設備工事〕

(1) 各種試験関係

- 低圧電路(100V 200V 弱電)絶縁測定記録書に1000MΩ以上としていたものがあつたが適正な計測器を使用し、製造者名、製造番号も記入すること。
絶縁抵抗測定器は次のものを使用すること。
 - 低圧配線は500V 測定器で100MΩ以上
 - 高圧は1000V 測定器で1000MΩ以上
 - 弱電は250V 測定器で100MΩ以上
- 自家発電設備のI場立ち合検査で試験時間の少ないものがあった。
 - 共通仕様書 P126.1.8.2 電動機試験(6)負荷試験
 - 100%負荷………3時間
 - 110%負荷………30分(カスターベン除く)
 以上のとおり確実に実施し検査時に記録書を提出願いたい。
- 竣工検査時に測定器類も備えていないものがあった。
(絶縁抵抗測定器、接地抵抗測定器、テスター、テストランプ、カラーテレビ)

(2) 施工関係

- 接地極付コンセントに接地線を配線してないかつた。
電子レンジ専用回路であつたが接地の主旨理解と因面も十分検討し施工していれば「出ない」問題であろう。
- 天井裏(ユニットバス)露出配線のFVVが給排水管等と接触していた。
適切に結束し造作材(木)に固定願いたい。

協会だより

第49号
昭和58年6月1日
福島県電気設備協会

1. 坂本会長再選さる

本協会第32回通常総会

本協会第32回通常総会は5月19日午後1時より電協会館において、86名(うち5名は執行役員)の会員出席のもとに開かれた。

大槻副会長が開会を告げ、会長挨拶、新会員紹介のあと、佐々木土木部長よりお祝いのことばを述べ、中島副会長も議長に指名し、議事に入る。

昭和57年度の事業報告、決算と承認し、昭和58年度運営方針、予算案と原案とより満場一致で可決し、役員改選に入る。議長指名と選任された選任委員6名により各支部より推せんされた被指名人の審査を行い、下記の被指名人が発表。満場一致で同意され、次いで理事会と開き正副会長の選任が行われ、坂本会長、大槻、国津、中島副会長が再選され、今後2年間の執行態勢が固まった。

総会終了後、佐々木土木部長、岸次長、橋本宮崎理事長、天野代議士、河原田福島市長殿をはじめ、関係機関、団体の代表、報道機関の代表ら来賓多数の出席を得て祝賀パーティーに入り総会の盛況を祝った。

会長	坂本博太郎(再)
副会長	大槻 清(再) 国津政次(再) 中島春記(再)
専務理事	岸 部 茂(再)
理事	遠藤 雄蔵(再) 佐藤春雄(再) 高橋 武(再) 渡辺幸治(新)
	吉田新市(再) 田村忠男(再) 池添祥彬(再) 成田幸一(再)
	内山鷹守(再) 中島幸一(再) 相笠忠一(再) 松崎 勉(再)
	岩 淵 昇(再) 三浦博忠(再) 八巻又志(新) 高橋幸一(再)
	早川武邦(新) 格井良一(再) 新田一男(再)
監査	後藤秀雄(再) 酒井良信(新) 友部嘉夫(再)

2. 池添理事長5選、副理事長も再選

県電気工事工業組合通常総代会

県電気工事工業組合の昭和58年度通常総代会は5月31日午後1時より総代人75名出席のもとに電協会館において開催された。

理事長挨拶のあと、渡辺博治副理事長が議長となり、昭和57年度事業報告收支決算と承認し、昭和58年度事業計画、予算案と原案とより可決し役員改選に入る。選任委員により各支部より推せんされた被指名人の審査を行い、満場一致で理事75名、監事6名が決定され、直ちに理事会と開き正副理事長の選任が行われ、池添理事長(郡山)、渡辺(福島)相笠(白河)梅津(いわき)阿部(相双)中島(会津)の5氏が副理事長に再選され、今後2年間の執行態勢が固まった。

3 労働災害防止に万全の対策を

建設業労働災害防止対策会議

昭和57年に県内で発生した労働災害による死亡災害は63名に達し、56年の39名に対し62%の増となり、このうち建設業については昨年より10名多い24名が死亡(電気工事関係2名)されており、全産業災害死亡の約40%と白める憂慮すべき事態となり、更に今年に入り4月末まで6人が死亡している。

このように急増している労働災害防止にストップをかけるため、福島労働基準局は5月9日福島合同庁舎会議室において建設関係14団体の代表者(電気工事団体、池添理事長、岸部専務理事)が出席、小村雅男局長をはじめ担当課長、安全専門官より労働災害の現状と事故防止対策の徹底について指示説明があり、又出席団体より安全対策の実施状況や、種々意見が述べられるなど活発な協議が進められ事故防止に努力することと誓い合った。会員企業においても労働災害防止について常に努力を怠らぬことと意思を固め、当日の会議での指示事項は次のとおりであり、万全の防止対策に意を用いられるようお願いする。

1. 安全管理体制の確立

経営者は安全衛生管理に統轄する責任のあることを自覚し、安全衛生についての基本方針を明確にすることも、生産活動と一体となつた安全衛生管理活動を促進するため、管理監督者、安全衛生に關する責任と権限を明確にさせること。

また、安全衛生管理に関する計画を作成させ、安全衛生管理担当者の職務の履行、安全衛生委員会等の活動を活発化させるなど、安全衛生委員会等の活動を促進すること。

2. 安全衛生教育の徹底

労働安全衛生法に基づく雇入れ時、又は作業内容変更時、教育、特別教育、職長教育の徹底を図ることにより、作業前打合せ、危険予知訓練等の習慣化を図ることにより安全技術、安全意識の向上とその持続を図ること。

3. 安全衛生に関する事前評価の充実

建築物、機械設備、工法、資材等にかかる事前評価の充実を図ること。特に建設業にあつては工事の施工計画段階において安全衛生について十分な検討を行ない、適切な災害防止計画を樹立し、計画に則つた施工を行うこと。又設計変更にあつても同様とする。

4. 作業員の適正配置

昨年の死亡災害の67%が40歳以上の中高年者であり、特に55歳以上の59歳の年令が他に比し最も高い比率を占めていることから、中高年者の適正配置について一層配慮すること。又、中高年者の健康管理、作業管理についても従来にも増して徹底する必要があること。

5. 機械設備の安全化

機械設備については、本質的安全化を進めるとともに、法定の検査点検の履行を図ること。

6. 交通事故対策

交通事故防止についても十分取り組むとともに、運転者会等交通事故防止のため自主的組織の活性化を図ること。

又、交通事故が過労運転に起因することのないよう労働時間、休憩、休日等を中心とした適正な労働管理の履行も不可欠であること。

1. 副知事も囲む懇談会

県管工事協同組合連合会(吉川信一会長)と本協会主催による第2回目の副知事も囲む懇談会が6月2日福島市の杉妻会館において開かれた。

当日午後3時から開かれた懇談会には県から友田副知事、佐々木土木部長、佐々間・岸次長、山口監理課長、新妻土木検査課長、加藤住宅課長、藤辺宮總課長補佐の8氏、業界側からは本協会より坂本会長、大槻副会長、安部専務理事、管工連からは吉川会長、斎藤副会長、尾形事務局長が出席して行われた。

業界も代表して吉川会長が「この懇談会は昨年に続き2回目の会合であり、是非今後定例化していただき突りある会議にしてほしいと思っております」と挨拶。友田副知事より「昨年に続き電設業協会、管工連と懇談する機会を得て大変嬉しい。県も昨年の会合以来業界の要望を取り入れ、実施できるものは極力解決してきた積りであります。長びく景気停滞のため建設業界は極めて厳しい立場にあることは充分承知しており、県も出来る工事は地元優先に考えておりますが、業界自身も積極的に経営改善を進めることにも、技術の向上に力を入れて経営型態を確立してもらいたい。」と心強い挨拶をいただき協議に入った。

坂本会長、吉川会長よりそれぞれ設備業界の現状と今後の課題について説明した後活発な意見の交換が行われた。

懇談の中で市町村工事の分離発注、企業誘致に伴う建築工事の地元業者の受注、県発注大型建築工事の分離・分轄により地元業者の優先活用、共同企業体方式採用、都市の再開発問題と設備業界として県に対する要望、又県より設備施工業界に対する考えなど熱心に討議され非常に突りある懇談会であった。

副知事もはじめ県土木部首脳が設備施工団体の要望を受け入れ、懇談会に出席いただき成功裡に終了できたことは、両団体の社会的地位が向上されてきたことを認められたものであり、まことに喜ばしい限りである。

本協会からは、次の事項について提案し、坂本会長、大槻副会長より詳細にわたり説明を行った。

● 官公需部門における受注量の増加促進について

昭和58年度も経済環境は依然として低迷状態が続くものと見られ、国の公共事業予算も伸び率ゼロに抑制され、又県をはじめ市町村における建築工事も昨年度に比し、相当量の減少が見られ、又民間投資や住宅建設についても先行き不安から、低迷状態が続くものと予想され、従って建設業界における本年度の受注面での見通しは極めて厳しく、企業経営に大きく影響されるものと懸念される。

特に民間工事に約70%を依存している電気工事業界は、まことに苦しい現状にある中で落ち込みの激しい建築工事量の拡大について特にご高配をお願いしたい。

● 大規模工事における県内業者活用について

近年建築物は公共工事をはじめ民間工事においても、大型化の傾向にあり、設備も極めて近代化されてきたため、一戸高層の施工技術が要求されてきており、県が近年発注された県自動車運転免許試験場庁舎、杉妻会館、自治会館、県立矢吹病院、県立白河体育館、県立図書館、美術館(弱電)等の大型工事についても県内業者を優先にご配慮いただき、県内業者が受注し、施工にあたっては使命の重大さを認識して工事に努力し、県の期待にこたえる成果をあげておきたいと思料している。

県が明年度以降に建設を予定されている県立医科大学、県立博物館、心身障害者総合療養センター等の大型工事についても、極めて特殊なものを除いては県内業者において充分対応し得る施工能力を備えておるので、発注に当たっては県内業者を優先活用下さるようご高配をお願いしたい。

● 技術水準の向上策について

技術水準の向上とともに責任施工体制の充実強化を図るため、従来より本協会技術委員会を中心に、東北地建、県土木部の指導を得て、各種の技術研修、講習会を実施し、多くの成果をあげている。特に昭和57年度においては、会員企業の現場代理人等中堅技術者を対象に二本松市の県建設技術学院において2泊3日の宿泊研修を実施し、技術研修とともに集団生活を通じ、精神教育や心身を鍛錬し、企業の将来を支える幹部養成を行った。この研修会は本年度も実施する計画であるので県のご指導をお願いしたい。

又昭和56年度より、他県の優れた公共建築物を視察研修し、爾後の工事施工に役立てる上で大きな成果をあげており、今後も継続実施する計画である。

- (昭和56年度)
 福岡市美術館、広島美術館、名古屋博物館、MOA美術館、宮城県美術館、岩手県立博物館
- (昭和57年度)
 青森県立中央病院、神戸市立中央市民病院
- 今後の視察研修予定
 空港関係、海洋施設関係、医療施設関係

● 県有施設の電気設備保守管理契約について

電気設備の果す役割は、生活の高度化、多様化に伴い益々重要となっている現状において電気保安体制の重要性も高まりつつある。

特に、公共施設において電気設備の劣化、損傷による危険も未然に防ぎ、住民の財産である施設も電気事故から守ることが必要である。

当電気工事業界においては、常に技術の向上と回り工事施工を実施しているが、更に昭和57年電気事業法施行規則第67条の改正施行により、昭和58年5月仙台通産局長の認可も受け、一般電気工作物の共同保守管理業務を実施し、地域社会の電気安全の確保に努力しております。

特に本業界は公共施設と重畳に業務を進めており、福島市、郡山市、会津若松市と保守委託契約を締結し、保守点検業務を実施しておりますところであるが、県有施設については是非保守管理契約方について持続のご配慮をお願いしたい。

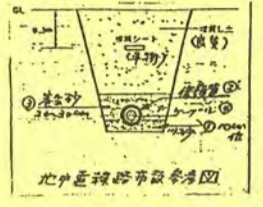
3 接地極埋設標示板の未取付及び刻記減れがあった。
 接地記号も含めて次のように統一願いたい。

接地記号		記号
電力設備	第1種接地	E1
	第2種接地	E2
	第3種接地	E3
	特別第3種接地	E3s
通信設備	屋内交換用直流電源装置(両極)	Ext
	保安用(100V以下)	Ext
	保安用(100V以下)	Ext
	保安用・増幅器	E4
避雷設備		EC

4 キュービクル型受変電設備の製造工程表を提出していないのがあった。
 別添様式により屋内及び屋外型のキュービクル型高圧受変電設備にのみ適用することにして58年度施工分より留意願いたい。(様式は県建設工事施工管理課120号(昭和58年4月14日県配電盤工業会、土木検査課、管工連協議済み))

5 地中電線路の埋設深度不明なものがあった。
 本件は写真で判断する上で適切な測器を使用し撮影しておくよう留意願いたい。

6 地中電線路の布設工事で工程を間違えているのがあった。
 下記要領で施工されるよう留意願いたい。
 ①と②を取り違えて施工していた。



— 検査員後記 —

昭和57年度は電気設備工事、機械設備工事合わせて206件50億円余の竣功検査を実施しましたが、概ね良好であったと思います。また、中間検査等を通じ現場代理人責任者、現場マンの方々と対話を持てこれに深い意義を感じております。

昭和58年度においても「設計図書」に基づき適正な検査を実施してまいります。施工者側においても発注者の期待にこたえるよう施工努力をお願いいたします。

福島県土木部土木検査課
 工事検査員 渡辺 昭夫

5 成人を迎えた北光電設

郡山支部の北光電設株式会社(遠藤光昭社長)は創業以来満20周年を迎えることを記念して去る5月1日郡山市農協会館において250名の来賓を招き盛大に祝賀会が開かれた。

同社は昭和36年7月従業員5名で創業当初は年間工事完成高1,000万円弱の小さな営業であったが遠藤社長の時代と見る企業感と積極的な経営手腕、又従業員が一致団結して社業に取り組み、昭和39年には法人組織に強化するなど20年の風雪に耐えながら徐々に業績を伸ばし、現在職員28名年間工事完成高2千万円の工事完成高とあり県内電気工事業界の中堅として活躍されておられるところである。

祝賀会は午後6時から始まり、社長の挨拶のあと、恵岡代議士、高橋郡山市長、坂本本協会会長から満20周年を祝って祝辞がよせられた。このあと郡山芸妓連の祝舞が披露され、池添県電気工事工業組合理事長の音頭で乾杯が行われ、パーティーに入った。又20周年を記念してゴルフ大会が早朝からローレルバレーCCにおいて行われ、県内各地から140名のゴルフ参加者参加し、祝賀会の席上、表彰式が行われ、それぞれ豪華な賞品が全員に贈られるとともに、J.K.D.の踊りや、ノド自漫の披露など遅くまでにごさやかにパーティーが続けられた。

6 協会のうごき

5	北光電設株式会社創業20周年記念祝賀会	会長	郡山市
7	故阿部博氏(阿部電気工業)一周忌法要	会長	郡山市
9	労働災害防止対策会議	池添理事長 専務理事	福島合同庁舎
11	県建設業協会第35回通常総会	会長	福島市卸物組展示場
12	白河支部総会	会長、専務理事	白河市
14	福島支部総会	大槻副会長	福島市
13	自民党福島県連大会	専務理事	福島市公会堂
16	県建設業団体連合会事務局長会議	専務理事	建設センター
19	本協会第32回通常総会	86名出席	電協会館
21	県建設設計協同組合第18回通常総会	専務理事	全通会館
26	自民党県連参議院選挙対策本部開き	大槻副会長	自民党県連本部
26	県電機障害防止協議会常任幹事会	専務理事	NHK福島放送局
30	県建設業団体連合会正副会長会議	会長、専務理事	辰巳屋ホテル
31	県電気工事工業組合通常総代会	正副会長、専務理事	電協会館

— 会員消息 —

(住所変更)
 ○福島支部 東邦電設株式会社 佐藤 勲氏 自宅住所変更 5月1日
 (新) 福島市本内字中街下5-03 TEL 0245(43) 2358
 (旧) 福島市松浪町11-27 TEL 0245(33) 2433

提出させ、これをため各社に流して、これらを中心に一堂に会して検討する
(発注者より回答も得る場合もある)
又施工上、管理上の問題点、注意事項を発注者の指摘指導を受け今後の工事のとり入れ、品質の向上に役立つ。

4. 現場パトロール

対象 技術委員及び支部関係者
時期 11月下旬又は12月上旬
目的 県発注工事が仕様書とより品質で施工されているか、管理・施工面創意工夫の面よりみて助言したり、検討したり、優れた部分を広く会員に知らせる。(本来得れば発注者の出席も指導もお願いする。)

5. マイクン入門講習会

対象 現場代理人、主任技術者、班長クラス
時期 59年4月下旬 1日又は2日
目的 現在の電気工事は電子機器を除いては考えられなくなっている、高度な研修は各社の中で実情に応じ実施される。シミュレータ、マイコン等の入門程度の講習会を開催、それからどのようなものであるかを理解してもらい知識・技能の向上に努めさせるため。

6 三浦電気工事(株)が知事表彰に輝く 昭和58年度県優良建設工事表彰

施工技術が優秀な業者に贈られる昭和58年度県優良建設工事が決定し6月30日発表された。

本年度の表彰は土木建築(農林土木部門を除く)合わせて93件の審査対象となり、1次審査、現地調査、そして2次審査において競選の上、土木建築関係17社の優良工事として表彰されることとなった。

電気設備部門で三浦電気工事株式会社(三浦博志社長)が表彰に輝いた。受賞の対象となった工事は、いわき工業試験場新築電気設備工事である。4月、表彰式は、7月19日 杉倉会館において行われる。

7 協会のうごき

6. 1	県建設業協会(長和親祝賀会)	会長	杉村辰巳屋
2	副知事ご同窓会	会長・大槻副会長・事務	杉倉会館
3	福島支部合同祝賀会	会長・事務	労働福祉会館
8	第14回協会ゴルフ大会	62名参加	宇津峰C.C.
15	建団連事務局長会議	事務	建設センター
17	県重慶障害防止協議会総会	事務	あふく会館

2 第14回協会主催ゴルフ大会開催

本協会通常総会、電気工事工業組合総代会など本年度当初の行事も無事終了し6月8日、第14回協会主催ゴルフ大会が須賀川市の宇津峰ゴルフカントリークラブにおいて行われた。

快晴に恵まれ最高のゴルフ日和。県内各地より61名のプレーヤーが参加。午前9時30分即須コース1番において坂本会長の始球式のみならず、警備コースで分かれ18ホールストロークプレーで開始された。

それぞれ違った支部会員で組合せ、豪快なショットを飛ばす人、的確な人、隣のコースに打ち込む人、和気あいあいに出発し、プレーを楽しんだ。

競技終了後クラブハウスにおいて表彰式も行ない、成田支部長敬迎の挨拶、坂本会長挨拶、国津副会長の講評に基づき表彰に入る。上位入賞者や最賞賛者にそれぞれ豪華な賞品が贈られるとともに、アトラクション賞、それに抽籤による特別賞など盛り込み贈られた。

この大会にあり、郡山支部の方々には絶大なご協力もいただき盛大に開催できたこと心から感謝いたします。(成績表別掲のとおり)

3 吉田氏(知事表彰)、佐藤(南)氏(喜寿)、佐藤(西)氏(古希)、高橋(遷厩)の合同祝賀会

福島支部主催で開催される

福島支部は吉田君と協会常任相談役、福島県知事表彰並びに喜寿を迎えられた佐藤東吉氏(東北佐藤電機商会)古希、遷厩を迎えられた佐藤正二氏(正栄電設)高橋重次郎氏(東北電工福島支社長)の合同祝賀会が去る6月3日午後6時、福島市の労働福祉会館において開かれた。

当日は坂本会長をはじめ、副会長、支部長も招かれ、福島支部会員ら40名が出席して行われ、遠藤支部長の挨拶、坂本会長の祝いの言葉に基づき、記念品の贈呈、吉田氏ら4氏の謝辞が述べられ、国津副会長の音頭で乾杯が行われ、パーティーに入った。

又祝賀会と記念して新霊山カントリークラブで行われたゴルフコンペの表彰式も行われ、入賞者には豪華な賞品が贈られるなど、又カラオケによる歌合戦、ダンスなど楽しくごちやからパーティーが盛り上がり続けた。

ゴルフコンペ成績

優勝	田村 忠男 (福島)	40. 38. 6. 72
準優勝	高橋重次郎 (-)	46. 41. 14. 72. 6
1位	遠藤雄蔵 (-)	45. 51. 22. 8 72. 2
2位	坂本博太郎 (いわき)	50. 48. 22. 8 75. 2
3位	渡辺清吉 (福島)	44. 48. 18. 72. 2
ブービー	相定忠一 (白河)	

第14回協会ゴルフ大会成績表

RANK	支部名	会社名	氏名	州間スコア	県間スコア	TOTAL	HDCP	NET	備考
優勝	福島	吉田電気(株)	吉田 高寿	62	44	86	14.0	72.4	
準優勝	郡山	福島電業(株)	内山 豊幸	62	46	88	16.0	72.6	
1位	相双	(株)山形電設事務所	志橋 幸一	60	60	80	8.0	72.0	
2	全庁	(南)日興工業(株)	日興 勝	62	62	78	26.0	72.4	
3	郡山	高柳電設(株)	国津 政夫	62	44	71	16.0	72.1	
4	福島	(株)日興電設事務所	日興 幸一	64	47	74	24.0	72.4	
5	白河	東陽電設(株)	石川 昌	62	47	74	19.0	72.8	
6	郡山	泉電業(株)	飯塚 信夫	64	46	76	10.0	75.2	
7		(株)川島電設	松田 貴光	62	48	100	24.0	76	
8	いわき	三浦電気(株)	三浦 光隆	58	44	82	4	76	
9		(株)松平電設事務所	松平 幸仁	60	50	78	21.0	76.4	
10	郡山	(株)日興電設事務所	成田 幸一	62	46	87	14	77	
11	福島	(株)林田電設	林田 剛	62	49	101	24.0	77	
12		東和電設(株)	山田 雅博	61	50	101	24.0	77	
13	いわき	東陽電設(株)	坂本 博太郎	60	49	79	21.0	77.4	
14	福島	三浦電気(株)	三浦 博志	67	46	71	16.0	77.4	
15	郡山	三浦電気(株)	三浦 博志	60	43	71	12.0	77.8	
16	福島	泉電業(株)	泉田 浩	50	47	77	18.0	77.8	
17	福島	東陽電設(株)	飯塚 信夫	69	54	103	26.0	77.8	
18	全庁	三浦電気(株)	三浦 博志	61	51	102	24.0	78	
19	福島	高柳電設(株)	高柳 武	68	56	114	26	78	
20		名電電設(株)	小川 幸男	69	47	76	18.0	78	
21	福島	福島電業(株)	東陽 幸一	63	48	102	24.0	78.4	
22		(南)日興電設事務所	日興 幸一	64	45	89	10.0	78.4	
23		北陽電設(株)	佐藤 正二	69	52	101	22.0	78.4	
24	白河	(株)山形電設事務所	山形 幸一	66	56	102	22.0	78.4	
25	郡山	北陽電設(株)	佐藤 正二	69	47	86	7.0	78.8	
26	いわき	東陽電設(株)	飯塚 信夫	62	51	103	24.0	79	
27	福島	泉電業(株)	飯塚 信夫	69	48	77	18	79	
28	いわき	大和電設(株)	松崎 勉	66	45	71	12	79	
29		松下電設(株)	伊藤 清次	60	53	103	24.0	79	
30	郡山	(南)日興電設事務所	日興 幸一	65	57	112	22.0	79.4	
31	福島	(株)三浦電設事務所	三浦 博志	58	57	111	21.0	79.4	
32	全庁	(株)日興電設事務所	日興 幸一	60	53	103	22.0	80.4	
33	郡山	日興電設(株)	日興 幸一	66	48	74	12.0	80.4	
34	白河	(株)東陽電設事務所	東陽 幸一	67	57	104	25.0	80.4	
35		福島電業(株)	飯塚 信夫	65	53	108	26.0	81.4	
36	相双	旭電設(株)	八木 正隆	63	45	88	6	82	
37		国田電業(株)	国田 正毅	69	59	128	26	82	
38	福島	(南)日興電設事務所	日興 幸一	64	50	104	21.0	82.4	
39		天崎 純一	向山 光雄	64	53	77	12.0	82.4	
40	福島	東陽電設(株)	飯塚 信夫	60	58	120	26	84	
41		東陽電設(株)	飯塚 信夫	60	60	120	26	84	
42	いわき	小松電設(株)	小松 茂春	68	50	108	24	84	
43	全庁	(株)小松電設事務所	小松 茂春	64	56	120	26	84	
44	福島	大和電設(株)	大和 清	62	61	113	28.0	84.4	
45	郡山	北陽電設(株)	佐藤 正二	66	62	118	28.0	84.4	
46	白河	(株)山形電設事務所	山形 幸一	50	54	104	18.0	84.4	
47		(株)東陽電設事務所	東陽 幸一	57	58	115	20	85	
48	郡山	日興電設(株)	日興 幸一	60	54	114	28.0	85.4	
49		物産電設(株)	物産 行雄	50	55	105	18.0	85.4	
50	郡山	福島電業(株)	飯塚 信夫	69	65	104	18	86	
51	福島	日興電設(株)	日興 幸一	52	54	104	22.0	86.4	
52		日興電設(株)	日興 幸一	63	59	112	34.0	87.4	
53	郡山	東陽電設(株)	東陽 幸一	69	59	118	20	88	
54	福島	(株)日興電設事務所	日興 幸一	62	61	123	24.0	89.4	
55	全庁	(南)日興電設事務所	日興 幸一	69	62	121	30	91	
56		(株)山形電設事務所	山形 幸一	60	53	113	21.0	91.4	
57	郡山	東陽電設(株)	東陽 幸一	65	68	133	26	97	
B-B		阿部電設(株)	阿部 幸一	64	72	136	26	100	
C-C	全庁	(株)東陽電設事務所	東陽 幸一	72	81	153	26	117	

4 日本海中部地震による電気工事業者の被災

去る5月26日正午過ぎ秋田県沖の日本海を震源地とするマグニチュード7.7の大地震。それに連動し打ちもける大津波により秋田、青森県を中心に死者、行方不明100名を越す大惨事となったことはご承知のとおりである。

昭和53年6月の宮城県沖大地震(M7.5)を上回る大規模地震であった。

この地震により東北七県電工連加入組合員の被災状況が判明したが、さきに七県電工連の総意により被害組合員に見舞金を贈ることを決め、本県電気工事工業組合より見舞金を贈り被災企業を慰めるところである。

真昼間の地震でこの被害である。夜間であったら、と思うゾッとする。地震のたびに岩代(いわき)の地に住む幸せを思うが、油断はできない。秋田、青森両県における被災の状況は次のとおりである

秋田県	青森県
死 七	1名
事務所全壊	4事務所
事務所半壊	6事務所
基礎陥没	5事務所
その他外壁、ブローフハ倒壊等	その他外壁、ブローフハ倒壊等

5 技術研修も積極的に実施

いわき支部技術委員会

いわき支部は6月9日第1回支部技術委員会を開催し、昭和58年度事業計画について種々協議し、積極的に技術向上の強化を図るため、次の研修講習会を実施することも決めた。

1. 交通信号機講習会

対象 現場代理人、班長クラス
時期 7月中旬 2日間
目的 信号機の内蔵機器の進化と系統化された信号機群の状況に対応し、又多くなった照光式道路標識の構造とその回路を用いた電子回路の入門の講習などにより、夫々に対応できるようにするものである。

2. 県立図書館・美術館現場研修会

対象 現場代理人、主任技術者クラス 40~50名の予定
時期 9月下旬~10月上旬 (施工者の都合にあわせて)
目的 他支部の主要建築物の電気設備工事の施工状況と現場において研修し、知識・技術の向上に資する。

3. 技術講習会

対象 現場代理人、主任技術者クラス
時期 10月中旬 1日
目的 工事の施工にあつての疑問点や問題点をあらかじめ各社より